

水害の歴史

年	月	本宮町の水害のようす
江戸時代		何度もこう水にみまわれた。
1890年 (明治23年)		大こう水。111けんの家が流された。田畑にも大きなひがいが出た。「まんちょうの海のようにだ」といわれました。
1898年 (明治31年)	9月	大こう水。580けんの家が流された。
この間に、こう水が8回おき、橋のひがいや死人も出た。		
1941年 (昭和16年)	7月	大こう水。ひがいを受けた家1163けん。あぶくま川の水位が9.62mになった。川の水が町一面にあふれ、湖のようであった。
1948年 (昭和23年)	9月	台風の大雨によるこう水。あぶくま川の水位が8mになった。
1966年 (昭和41年)	6月 9月	台風によるこう水が6月と9月にあった。
この間に、こう水が3回おき、田や畑にひがいが出た。		
1986年 (昭和61年)	8月	大こう水。あぶくま川、あだたら川から水があふれ、家や田畑に大きなひがいが出た。あぶくま川の水位が8.48mになった。今のサンライズ前では、ちゅうしゃしていた車も水にしずんでしまった。
1998年 (平成10年)	8月	大雨によるこう水。あぶくま川の水があふれ、高木地区の家や田畑に大きなひがいが出た。あぶくま川の水位は8月27日に7.63m、8月30日には8.37mになった。本宮町にひなんかんこくが出され、多くの人がひなんをした。
2002年 (平成14年)	7月	台風による大こう水。あぶくま川と五百川の水があふれ、家や田畑に大きなひがいが出た。あぶくま川の水位は、7月11日に8.53mになった。約500人がひなんをした。

水害をふせぐ努力

年	月	水害をふせぐための工事
1987年	4月	あぶくま川のていぼうを高くする工事が始まる。
1991年	3月	あだたら川の新しいていぼうができる。
1995年	3月	はい水ポンプ施設ができる。
2000年	3月	あぶくま川に新しいていぼうを作る工事が終わる。 (平成の大かいしゅう)